

健康診断を受けましょう

ぴんぴん元気で健康長寿



消化器内科副代表部長
蜂巣 陽子

人生100年といわれる長寿の時代、健康で元気に過ごしたいと誰でも願うでしょう。大切な自分の健康をチェックしていますか？慌ただしき毎日のなかで、生活習慣の乱れや心身にかかるいろいろな負担は、気がつかないうちに身体に影響を及ぼしていることがあります。健康診断は、自分の健康状態を知って生活習慣病を予防したり、隠れた病気を早期に発見するために役立ちます。何よりも健康であることが確認できれば、安心して生活していく自信にもつながります。「症状が無いから大丈夫」とか「まだ若いから関係無いし〜」などと後回しにしないで、1年に1回は健康診断を受けて、自分の健康と向き合ってみてください。

当院の検診センターは昭和53年に業務を開始し、経験と実績に基づく精度の高い健康診断を提供してきました。特定健診を基本にした事業所健診と生活習慣病健診（協会けんぽ）、日帰り・2日間コースの人間ドックにより、時代のニーズに応えた健康管理と予防医療を目指しています。



検診センターロビー

今年度は新たに、2つの検査項目を導入しました。

アミノインデックス AICS がんリスクスクリーニング検査

1本の血液検査で、複数のがんの可能性を評価します。

ファイブロスキャン検査

脂肪肝と肝臓の硬さ・線維化の状態を、数値で評価できます。腹部エコーに追加するだけで、短時間でできる侵襲のない検査です。

検査は各科の専門医やベテラン検査技師と看護師が担当し、正確な診断と結果説明を行っています。受診後の再検査や治療が必要になったときには、外来の専門科で対応します。

数年前から、生活習慣病の予防を目的として特定保健指導が施行されました。当センターでは頼れる優しい保健師と管理栄養士が、院内外の対象者に生活環境や年齢に合った指導を行っています。



時代とともに寿命にかかわる疾患は大きく変わってきました。かつて死亡原因のトップだった感染症は生活水準の向上や治療の進歩により激減し、がん、心疾患、脳血管疾患を含む生活習慣病は増え続けています。病気にならないように予防することは、健康長寿で過ごすために欠かせなくなってきました。

「人生五十年」だった時代に、『良いうちから養生』をモットーにしていた著述家は80歳を過ぎても元気で、当時の健康how to本『養生訓』を書き残したそうです。平和で豊かになり世界一といわれる長寿の時代、ぴんぴん元気で生き生きとした日々を過ごしていきましょう。